

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
平成27年度公営住宅(城浜住宅)新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-			<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
<b>2 温熱環境</b>		-	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
2.1 室温制御		-	-	<b>3.0</b>	1.00			
1 室温		-	-	3.0	0.63			
2 外皮性能		-	-	3.0	0.38			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	-	-			
2.3 空調方式		-	-	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.3</b>
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.43	<b>4.0</b>	0.35			
1 昼光率	昼光率3.8	-	-	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		-	-	<b>3.0</b>	0.35			
1 昼光制御		-	-	<b>3.0</b>	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.21	-	-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.36	<b>3.0</b>	0.29			
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.0</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.6</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建材を使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		-	-	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		-	-	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.4</b>	0.40	<b>4.0</b>	1.00			<b>3.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	CATVによるインターネット対応	3.0	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観	居室天井高2.5m以上	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30	-	-			<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.6</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能評価劣化対策等級:等級3	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	排水管にVP,給水管に水道用ポリエチレン管使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.2	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	-
1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.2	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性	さや管ヘッダー方式の採用	4.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)		高効率型ガス給湯器の使用	4.0	1.00	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		GL工法の採用。分別が比較的容易となっている。	4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	1.00	-	-	-
3	冷媒		-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2の排出率が一般の建物より低い。	4.3	0.33	-	-	4.3
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない。	4.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-